



2019年12月期

決算説明会資料

2020年2月19日

日機装株式会社

(東証一部 6376)

免 責 事 項

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績については、経営環境の変化等に伴い本資料の予想数値とは異なる可能性があります。

I. 連結業績

II. セグメント別業績

III. 業績見通し

IV. 新中期経営計画

Appendix

会社情報

I. 連結業績

売上収益、営業利益ともに過去最高を更新。有利子負債の削減も進む。

PL	売上収益	<p>◇ 4億円増収（工業：△7、医療+12）</p> <p>為替のマイナス影響△39億円（工業△30、医療△9）があったものの、事業の販売好調によるプラスが+44億円（工業+23、医療+21）。</p>
	営業利益	<p>◇ 21億円増益（工業：+27、医療：△21、その他：+15）</p> <p>為替のマイナス影響（△6億円）、医療部門の減損損失（△21億円）があったものの、LEWA社やCryogenic Industriesグループの収益改善、粉体計測機器事業売却益（+24億円）等により増益。</p>
	当期利益	<p>◇ 6億円減少</p> <p>減損損失の損金不算入等が課税所得を押し上げ、当期利益が減少。</p>
BS		<p>◇ 有利子負債 123億円削減（1,170億円→1,047億円）</p>
CF		<p>◇ フリーキャッシュフロー 68億円（前年比50億円増加）</p>

2019年12月期 連結業績 概況



百万円

	2018年12月期 (2018年1-12月)	業績予想 (2019/11/14発表)	2019年12月期 (2019年1-12月)	前期比		予想比
				増減額	増減率	増減率
受注高	172,492	171,500	167,034	△5,457	△3.2%	△2.6%
売上収益	165,326	170,000	165,780	+454	+0.3%	△2.5%
営業利益	10,302	12,000	12,466	+2,163	+21.0%	+3.9%
利益率	6.2%	7.1%	7.5%			
税引前利益	9,741	11,200	11,381	+1,639	+16.8%	+1.6%
利益率	5.9%	6.6%	6.9%			
親会社の所有者に帰属する 当期利益	7,448	6,700	6,813	△634	△8.5%	+1.7%
利益率	4.5%	3.9%	4.1%			
期中平均為替レート						
対米ドル (円)	110.44	109.00	109.03	△1.41	-	-
対ユーロ (円)	130.35	122.00	122.03	△8.32	-	-

2019年12月期 損益内訳



百万円	2018年12月期 実績 (2018年1-12月)	2019年12月期 実績 (2019年1-12月)	増減額	説明
売上総利益	56,977	54,783	△2,193	
- 販管費および一般管理費	47,123	43,917	△3,205	為替影響、粉体計測機器事業子会社連結除外等
- その他の収益	805	4,354	+3,549	粉体計測機器事業売却益(+2,414)、深紫外線LED事業の合弁契約に基づく収入(ライセンスの許諾等に係る収入+1,000)
- その他の費用	356	2,753	+2,397	CRRT事業の減損損失計上(+2,139)
営業利益	10,302	12,466	+2,163	
- 金融収益	528	523	△5	
- 金融費用	1,355	1,345	△9	
- 持分法による投資損益	266	△262	△528	
税引前利益	9,741	11,381	+1,639	
決算日レート				
- 対米ドル(円)	111.00	109.56	△1.44	
- 対ユーロ(円)	127.00	122.54	△4.46	

II. セグメント別業績

2019年12月期

セグメント別業績

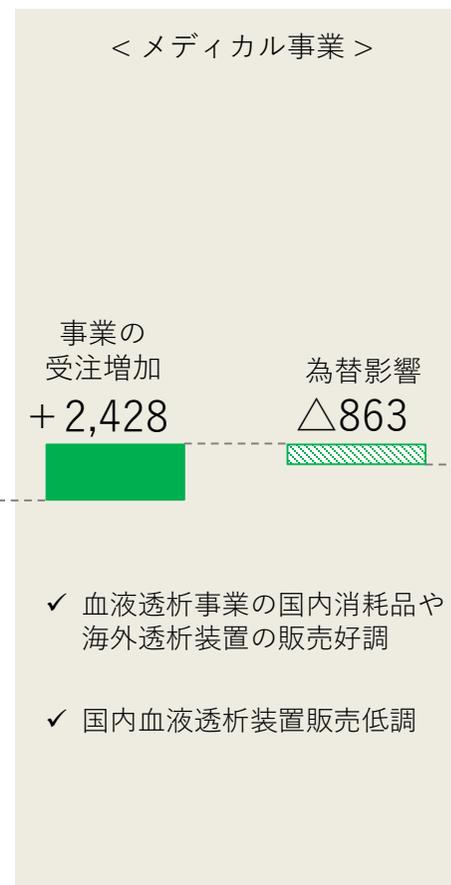
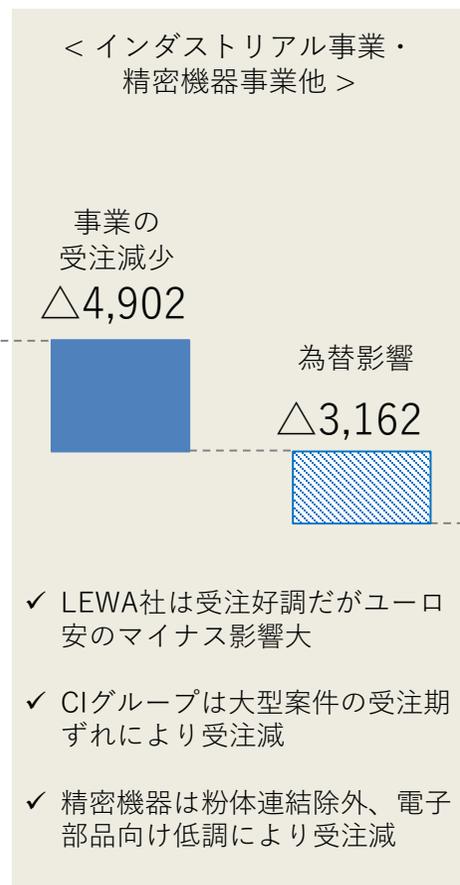


百万円	2018年12月期 (2018年1-12月)	業績予想 (2019/11/14発表)	2019年12月期 (2019年1-12月)		前期比		予想比 増減率
					増減額	増減率	
受注高	172,492	171,500	167,034	△5,457	△3.2%	△2.6%	
工業部門	111,459	107,200	104,437	△7,022	△6.3%	△2.6%	
インダストリアル	82,238	79,900	77,623	△4,615	△5.6%	△2.8%	
精密機器	12,204	9,200	7,571	△4,632	△38.0%	△17.7%	
航空宇宙	16,884	17,600	17,926	+1,042	+6.2%	+1.9%	
医療部門	61,032	64,300	62,597	+1,565	+2.6%	△2.6%	
売上収益	165,326	170,000	165,780	+454	+0.3%	△2.5%	
工業部門	104,501	105,700	103,734	△767	△0.7%	△1.9%	
インダストリアル	76,763	77,900	75,238	△1,524	△2.0%	△3.4%	
精密機器	10,682	9,700	9,233	△1,448	△13.6%	△4.8%	
航空宇宙	16,909	17,600	17,955	+1,045	+6.2%	+2.0%	
医療部門	60,824	64,300	62,046	+1,222	+2.0%	△3.5%	
営業利益	10,302	12,000	12,466	+2,163	+21.0%	+3.9%	
利益率	6.2%	7.1%	7.5%				
工業部門	8,140	10,000	10,851	+2,711	+33.3%	+8.5%	
利益率	7.8%	9.5%	10.5%				
医療部門	5,582	4,000	3,447	△2,134	△38.2%	△13.8%	
利益率	9.2%	6.2%	5.6%				
全社費用	△3,419	△2,000	△1,833	+1,586	-	-	

百万円

前期比△5,457百万円減少 (事業の受注減少：△1,283、為替影響：△4,173)

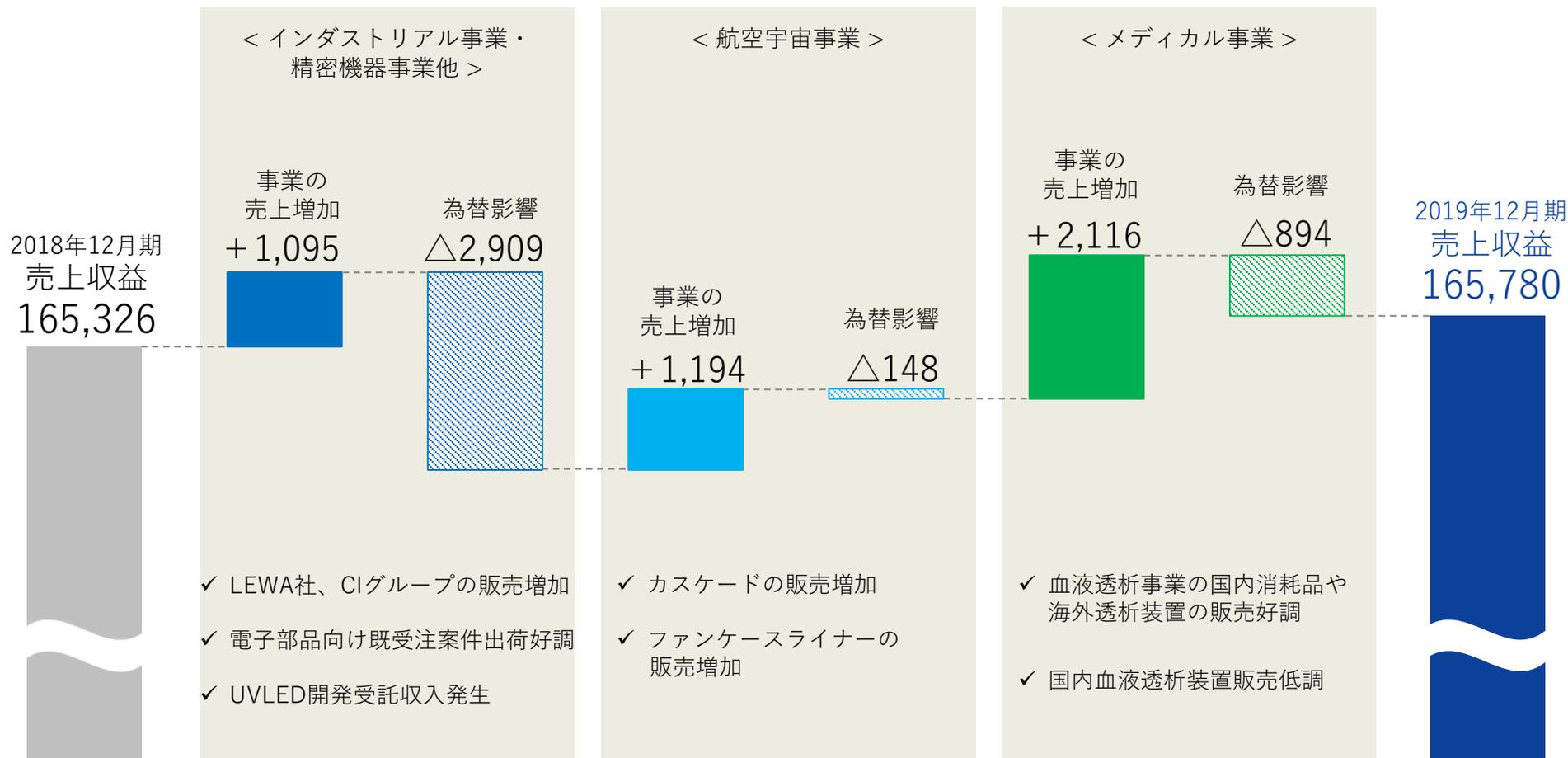
2018年12月期
受注高
172,492



2019年12月期
受注高
167,034

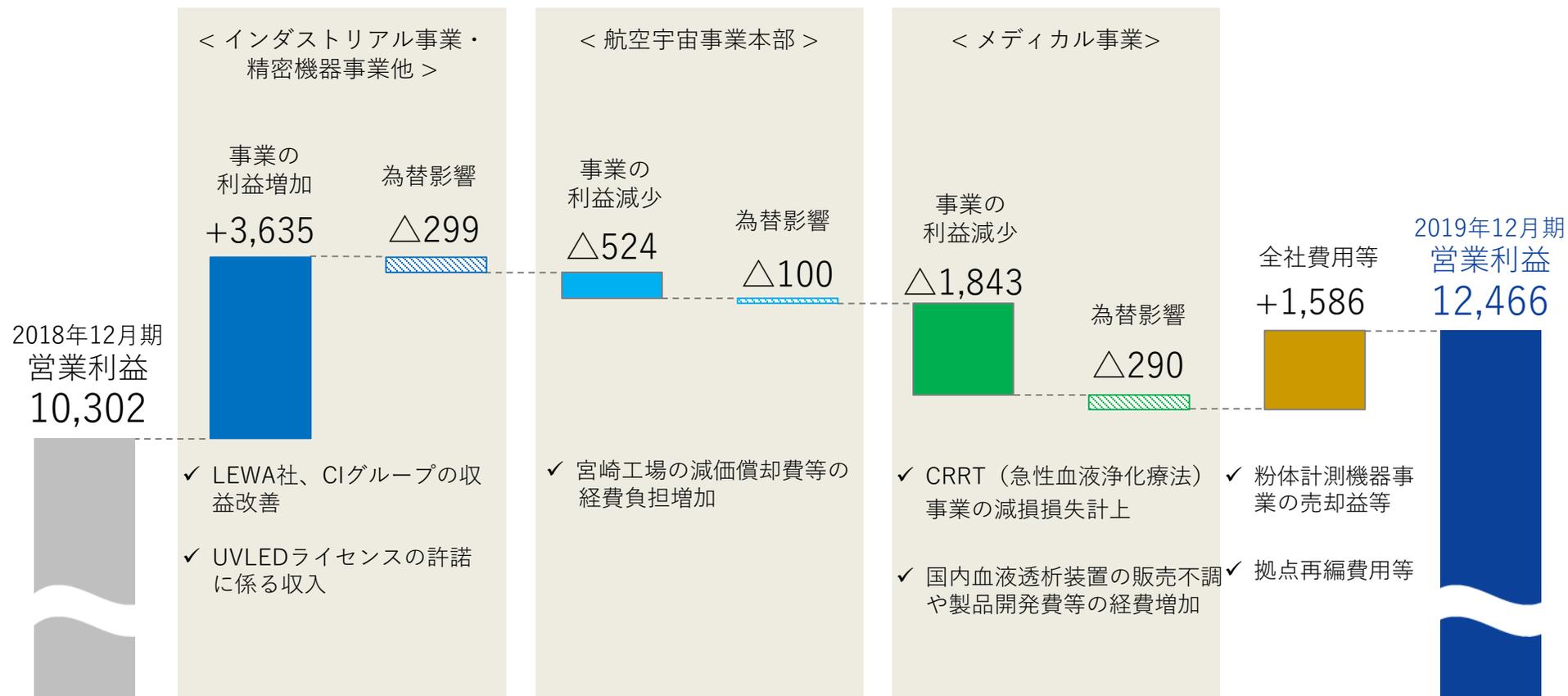
百万円

前期比 +454百万円増収 (事業の売上増加: +4,407、為替影響: △3,953)



百万円

前期比 +2,163百万円増益 (事業の利益増加 : +1,268、為替影響 : △690、全社費用 : +1,586)



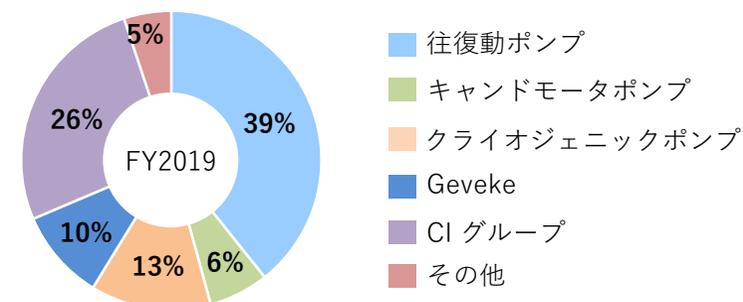
1. 事業の概況

- ✓ LEWA社では、上流分野の引合いが順調に回復し、下流分野やアフターセールスの営業強化も寄与して、前年同期比で増収増益。
- ✓ LNG受入基地で利用される大型のクライオジェニックポンプの引き合いおよび受注が好調を維持。Cryogenic Industriesグループは、販売伸長、償却負担の軽減効果により、前年同期比で増収増益。
- ✓ インダストリアル事業全体では、中東向け案件の減少やユーロ安による為替影響等により減収となるも、収益面では、LEWA社やCIグループの業績改善が寄与し、増益を確保。
- ✓ グループ一体での営業戦略の推進による拡販、宮崎でのクライオジェニックポンプ試験設備建設によるLNG需要増への対応力強化、インダストリアル工場の建設による技術力・生産力強化を図る。

2. 業績の概況

百万円	2018年12月期 実績 (2018年1-12月)	2019年12月期 実績 (2019年1-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	82,238	77,623	△4,615	△5.6%
売上収益	76,763	75,238	△1,524	△2.0%

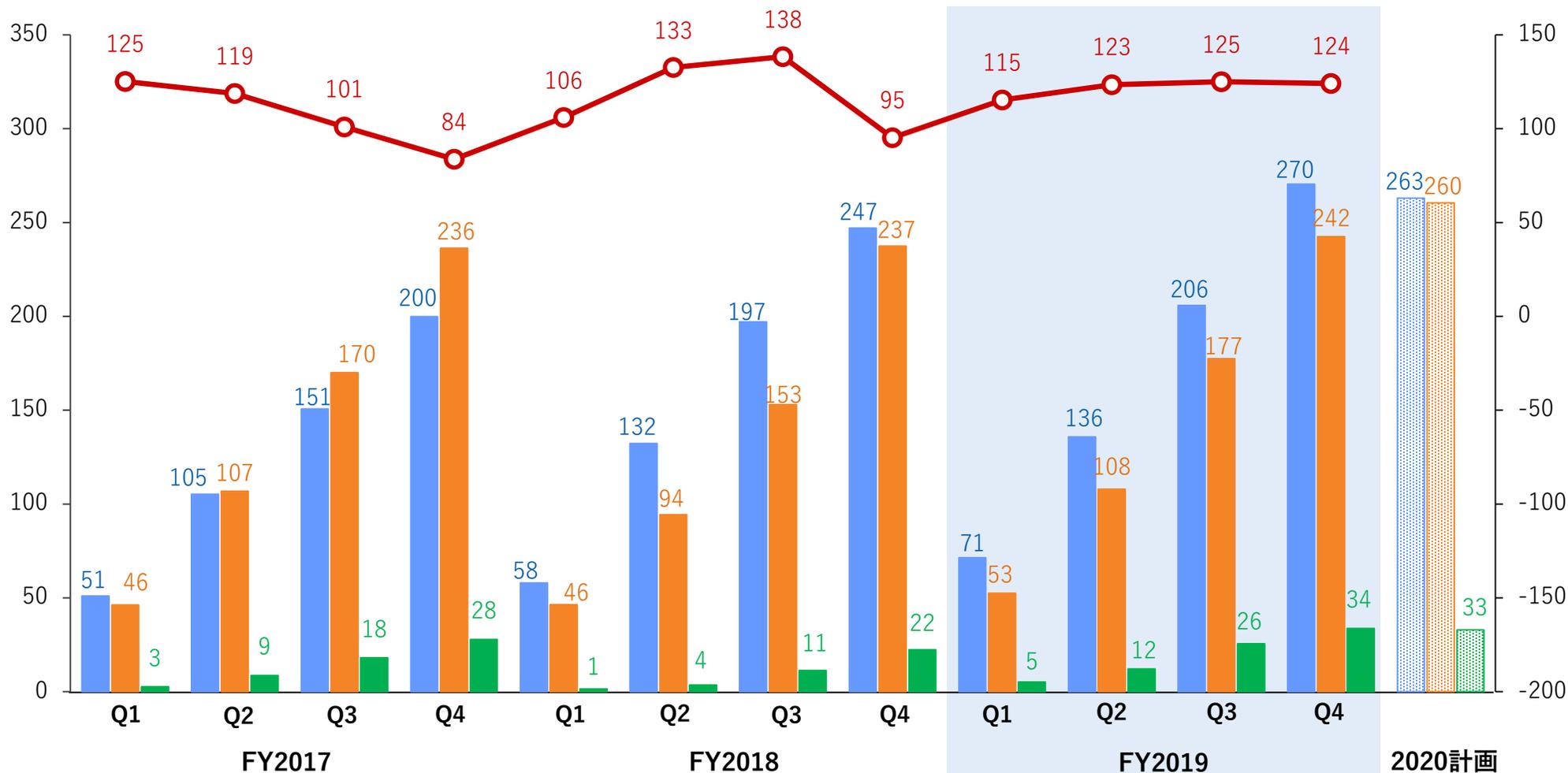
3. 製品別売上収益構成比



LEWA社 四半期累計業績の推移

百万€

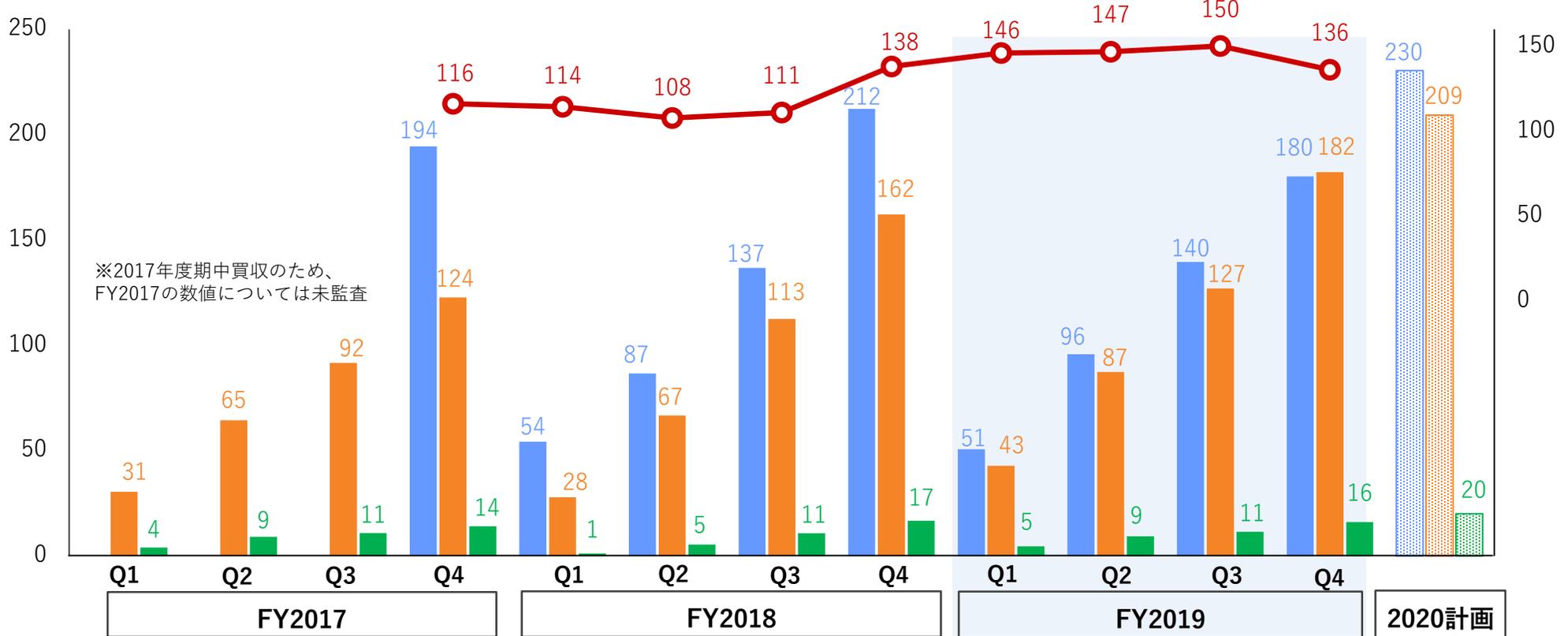
■ 受注高 (左軸) ■ 売上収益 (左軸) ■ EBITDA (左軸) ● 受注残高 (右軸)



CIグループ 四半期累計業績の推移

百万\$

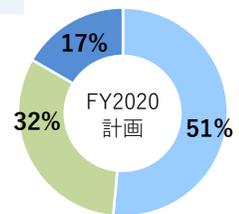
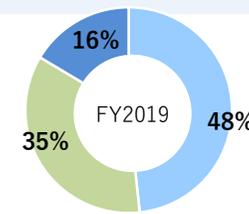
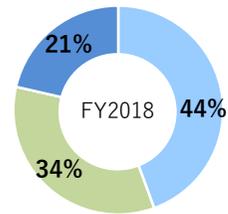
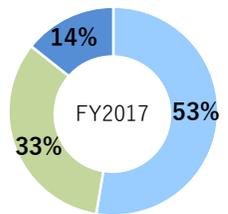
■ 受注高 (左軸) ■ 売上収益 (左軸) ■ EBITDA (左軸) ● 受注残高 (右軸)



※2017年度期中買収のため、FY2017の数値については未監査

セグメント別 売上収益構成比

- ACD
- Cryoquip
- Cosmodyne



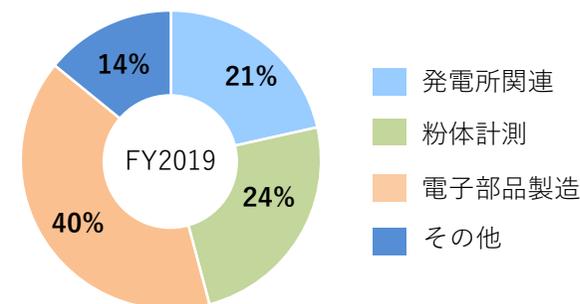
1. 事業の概況

- ✓ 発電所関連機器は、国内市場は低迷したものの、海外、特に東南アジア向けの水質調整装置の引合いが増加傾向。
- ✓ 電子部品製造機器は、電子部品市場の減速により、受注高は減少するも、既受注案件の生産・出荷は順調に進展。今後、「5G」の世界的需要拡大を受けた当社装置の受注増加を見込む。
- ✓ 2019年7月に粉体計測機器事業を譲渡したため、精密機器事業全体では受注高・売上収益は前年同期比で減少。

2. 業績の概況

	2018年12月期 実績 (2018年1-12月)	2019年12月期 実績 (2019年1-12月)	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	12,204	7,571	△4,632	△38.0%
売上収益	10,682	9,233	△1,448	△13.6%

3. 製品別売上収益構成比



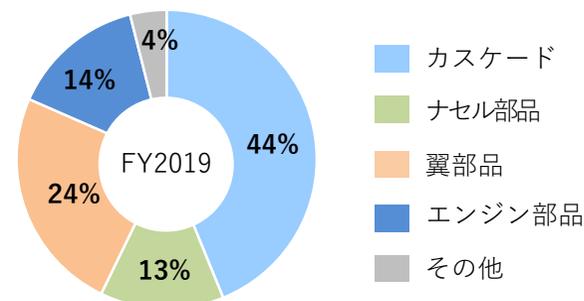
1. 事業の概況

- ✓ 小型機（単通路機）を中心とした民間航空機需要は東南アジアを中心に拡大傾向が続き、当社への引合いも順調に増加。当期は、米ボーイング737MAX向けの製品出荷に大きな影響なし。
- ✓ 主力製品のカスケードおよびエンジン部品の出荷が伸長したことにより、前年同期比で増収。
- ✓ 宮崎工場の立ち上げに伴う減価償却費等の経費増加により減益。宮崎工場で新規開発したA320neo PW カスケードを10月に初出荷。引き続き、生産技術・新技術の開発を推進。
- ✓ 2019年12月に静岡での生産終了、他工場への生産移管完了。生産拠点、生産体制の集約・最適化を引き続き進めるとともに、宮崎工場の安定稼働、ベトナム第2工場の活用による収益力向上を図る。

2. 業績の概況

	百万円		前年同期比	
	2018年12月期 実績 (2018年1-12月)	2019年12月期 実績 (2019年1-12月)	増減額	増減率
受注高	16,884	17,926	+1,042	+6.2%
売上収益	16,909	17,955	+1,045	+6.2%

3. 製品別売上収益構成比



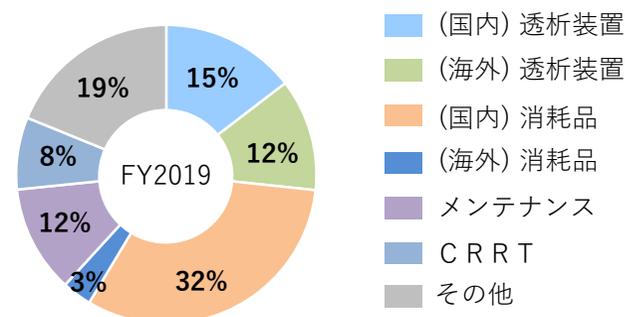
1. 事業の概況

- ✓ 国内血液透析装置は、買い替えサイクルの長期化の影響等により販売はやや低調。当第3四半期より発売開始の新型装置は治療の安全性や利便性並びに経済性が高く評価され、引合い伸長。
- ✓ 国内消耗品は、血液回路や粉末型人工腎臓透析用剤を中心に販売が伸長。海外市場は、中国や欧州での血液透析装置の販売が堅調。
- ✓ 今後、国内市場は、新型血液透析装置の市場浸透と普及拡大、サービス体制の強化を図る。海外市場は、当社装置の機能に対する評価が高い欧州、東南アジア、中国、米国での拡販を推進。
- ✓ CRRT（急性血液浄化療法）事業の業績悪化により減損損失を計上。メディカル事業全体では前年同期比で増収減益。

2. 業績の概況

	百万円		前年同期比	
	2018年12月期 実績 (2018年1-12月)	2019年12月期 実績 (2019年1-12月)	増減額	増減率
受注高	61,032	62,597	+1,565	+2.6%
売上収益	60,824	62,046	+1,222	+2.0%

3. 製品別売上収益構成比



III. 業績見通し

世界情勢の不透明感があるものの、当社の主力事業は成長を継続
事業基盤強化に伴う投資や経費が増加

売上収益

◇前年実績比+82億円(工業+42、医療+39)

<工業部門>

インダストリアル事業、航空宇宙事業は市場成長を受け増収。精密機器事業は前期の一部事業売却や電子部品関連の受注減が響き減収。

<医療部門>

国内外での新型血液透析装置の市場浸透と普及拡大により増収。

営業利益

◇前年実績比△14億円(工業△6、医療+20、その他△28)

<工業部門>

宮崎新工場建設など、事業基盤強化費用が増加。

<医療部門>

研究開発費用や海外拡販に向けた諸経費等が増加するが、前年のCRRT事業減損損失(△21億円)がなくなるため増益。

<その他>

前年の粉体計測機器事業売却益(24億円)がなく、国内拠点再編費用が増加。

百万円

	2019年12月期 実績	2020年12月期 業績予想	前年同期比	
			増減額	増減率
受注高	167,034	177,000	+9,965	+6.0%
売上収益	165,780	174,000	+8,219	+5.0%
営業利益	12,466	11,000	△1,466	△11.8%
利益率	7.5%	6.3%		
税引前利益	11,381	10,000	△1,381	△12.1%
利益率	6.9%	5.7%		
親会社の所有者に帰属する 当期利益	6,813	6,000	△813	△11.9%
利益率	4.1%	3.4%		
平均為替 / 業績予想前提レート				
対 米ドル (円)	109.03	109.00	△0.03	
対 ユーロ (円)	122.03	120.00	△2.03	
2020年12月期 為替感応度 (1円 円安になった場合)				
米ドル (円)	売上収益 +4.6億円	営業利益 +0.8億円		
ユーロ (円)	売上収益 +4.0億円	営業利益 +0.7億円		

百万円	2019年12月期 実績	2020年12月期 業績予想	増減額	増減率
受注高	167,034	177,000	+9,965	+6.0%
工業部門	104,437	111,000	+6,562	+6.3%
インダストリアル	77,623	85,000	+7,376	+9.5%
精密機器	7,571	6,500	△1,071	△14.2%
航空宇宙	17,926	18,500	+573	+3.2%
医療部門	62,597	66,000	+3,402	+5.4%
売上収益	165,780	174,000	+8,219	+5.0%
工業部門	103,734	108,000	+4,265	+4.1%
インダストリアル	75,238	82,000	+6,761	+9.0%
精密機器	9,233	6,500	△2,733	△29.6%
航空宇宙	17,955	18,500	+544	+3.0%
医療部門	62,046	66,000	+3,953	+6.4%
営業利益	12,466	11,000	△1,466	△11.8%
利益率	7.5%	6.3%		
工業部門	10,851	10,200	△651	△6.0%
利益率	10.5%	9.4%		
医療部門	3,447	5,500	+2,052	+59.5%
利益率	5.6%	8.3%		
全社費用	△1,833	△4,700	△2,866	

IV. 新中期経営計画

前中期経営計画「日機装2020」の振り返り

基本施策

1. 技術の日機装の確立
2. 成長に向けた基盤強化と収益力の向上

主要成果

将来性のある分野を見極め事業体制を整備、今後の成長の道筋が明確化

- LNG関連機器市場、海外血液透析市場、航空機部品市場を成長分野に設定し経営資源の配分を強化
- 成長性が見込みにくい分野、非採算事業、主力事業との親和性の低い事業を整理

新中期経営計画「Nikkiso 2025」 FY2020-FY2025

中期経営計画「日機装2020」が2016年に始まってから2019年までの4年間、私たち日機装は未来の夢に向かって様々な挑戦を続けてきました。

将来性のある分野を見極め事業体制を整備したことにより、今後の成長の道筋が明確になってきたことから、外部環境の変化やグローバル・国内における課題認識を反映した新たな目標をもとに行動することが必要と判断し、2020年～2025年までを対象期間とする新中期経営計画「Nikkiso 2025」を策定しました。

基本施策

1. 技術力・生産体制の強化

国内における生産効率向上や生産能力の拡大を図ると同時に、技術・開発チームが力を発揮できる環境の整備と高度で効率的なものづくり力、人材の育成を図る

2. 国内・海外一体の事業推進体制の構築

グループ会社間、拠点間の連携強化や、各地域に応じた生産・販売・技術の事業体制を構築する

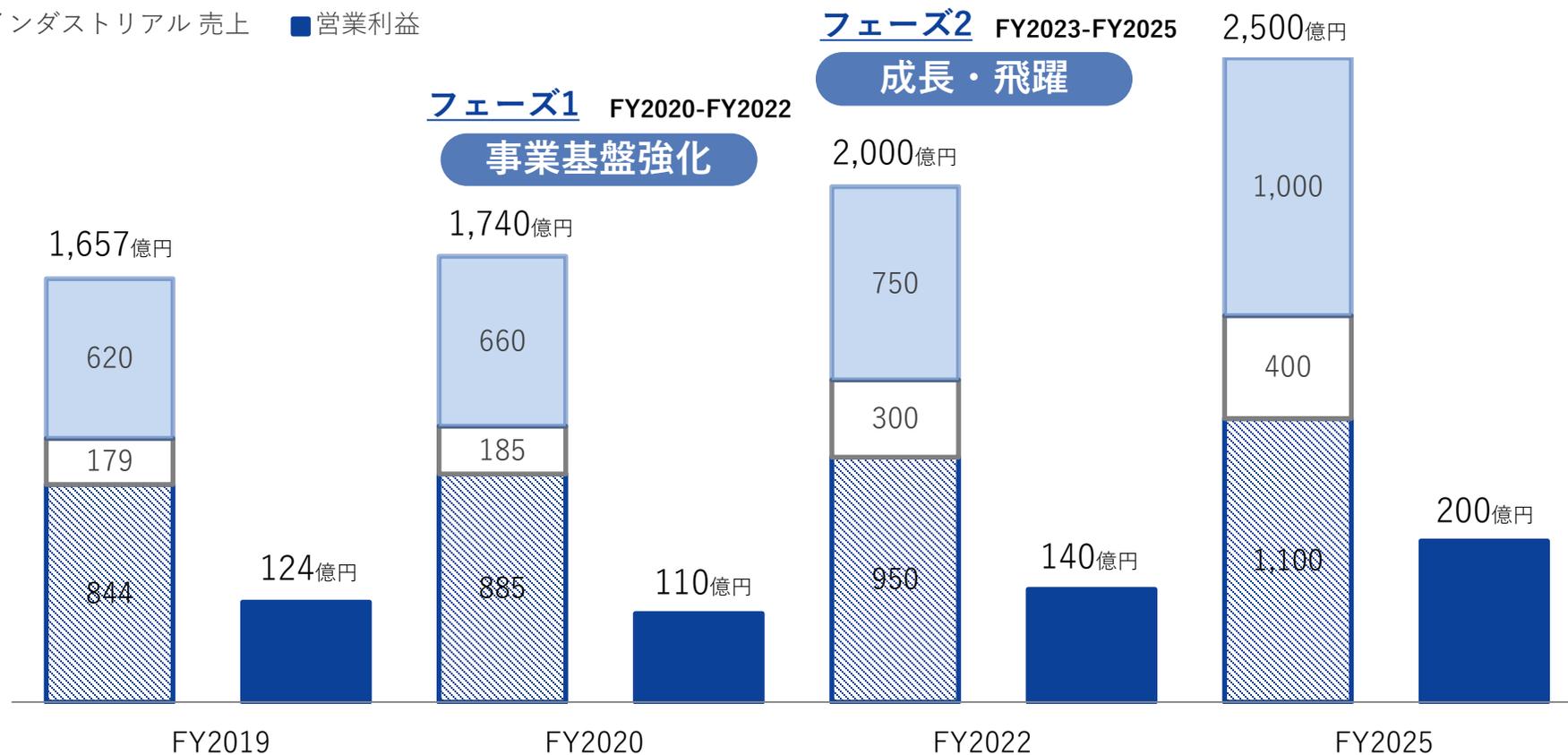
各種施策を成果として結実

新中期経営計画「Nikkiso 2025」 FY2020-FY2025



6カ年計画の前半3年をフェーズ1とし、事業基盤の強化を実施、後半のフェーズ2では、これまでの投資や各種施策を成果として結実させる

- メディカル 売上
- インダストリアル 売上
- 航空宇宙 売上
- 営業利益



中期経営計画「日機装2020」

新中期経営計画「Nikkiso 2025」 <FY2020-FY2025>

Appendix



空間除菌消臭装置



UV-LED水浄化装置



DCS-200 Si
2019年7月販売開始



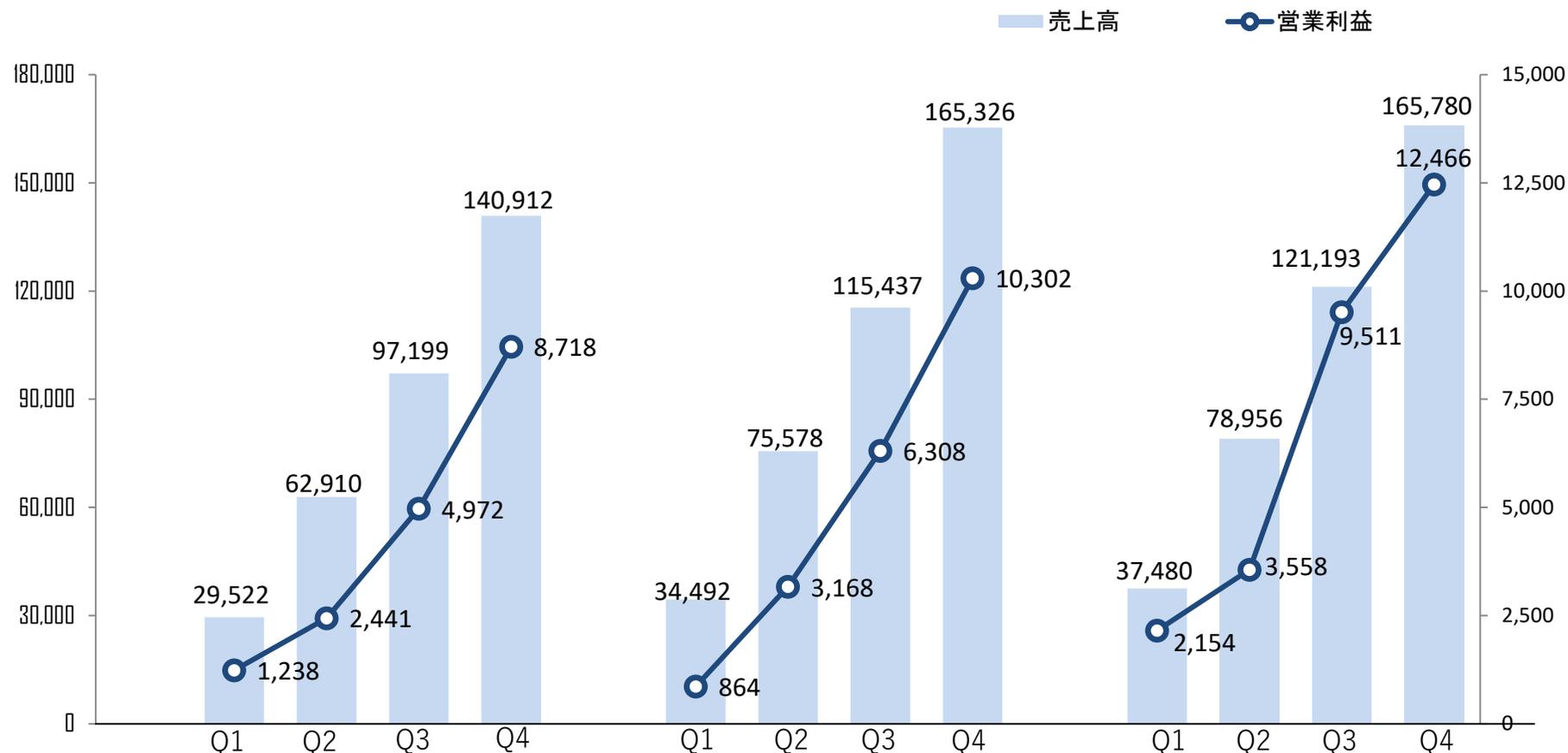
DBB-EXA ES
2020年販売開始



Acrosurg.
2020年製品ラインアップ強化

四半期累計業績の推移

百万円



2017年12月期

期中平均為替レート

1\$ = 112.16円
1€ = 126.70円

2018年12月期

期中平均為替レート

1\$ = 110.44円
1€ = 130.35円

2019年12月期

期中平均為替レート

1\$ = 109.03円
1€ = 122.03円

連結財政状態計算書

百万円

	2018年12月末		2019年12月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
資産 合計	249,788	100.0%	252,984	100.0%	+3,196
流動資産	121,342	48.6%	113,020	44.7%	△8,321
現金及び現金同等物	29,269	11.7%	20,303	8.0%	△8,965
営業債権及びその他の債権	54,077	21.6%	53,256	21.1%	△820
たな卸資産	33,297	13.3%	35,523	14.0%	+2,226
非流動資産	128,446	51.4%	139,964	55.3%	+11,517
有形固定資産	44,920	18.0%	41,849	16.5%	△3,070
のれん及び無形資産	64,255	25.7%	61,105	24.2%	△3,150
負債 合計	171,450	68.6%	169,571	67.0%	△1,878
営業債務及びその他の債務	27,380	11.0%	28,231	11.2%	+851
社債及び借入金	117,052	46.9%	104,731	41.4%	△12,321
資本 合計	78,338	31.4%	83,413	33.0%	+5,074

※2019年12月期よりIFRS第16号の適用に伴い、オペレーティングリースに関わる使用权資産・負債を計上しています。

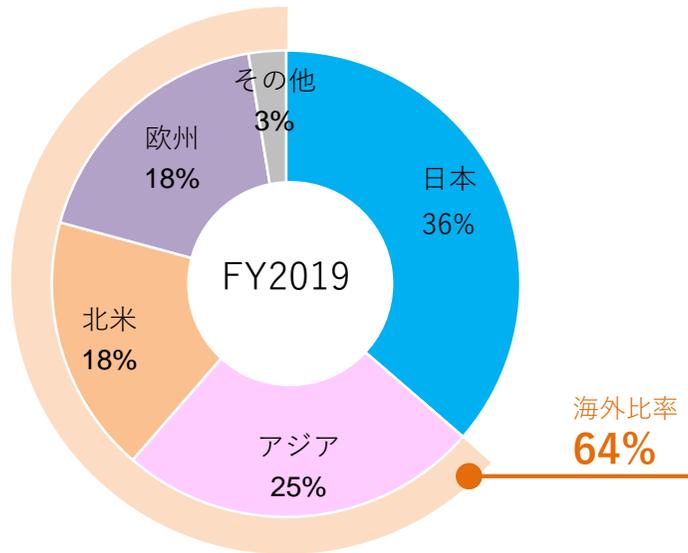
連結キャッシュ・フロー計算書

百万円

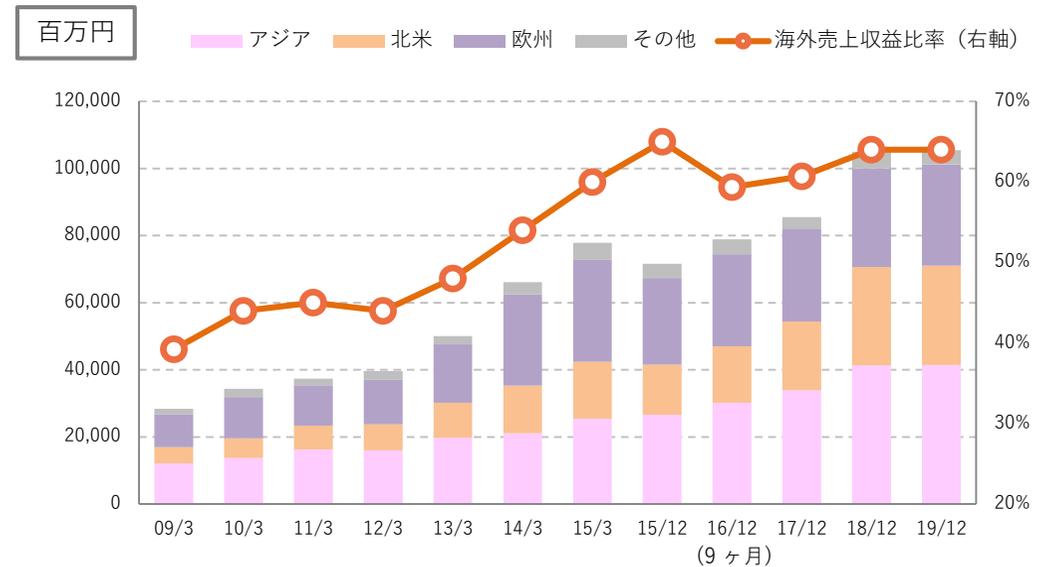
	2018年12月期	2019年12月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,076	11,996	△2,079
税引前利益	9,741	11,381	+1,639
減価償却費	6,335	8,994	+2,659
運転資本の増減 (営業債権・棚卸資産・営業債務)	△2,983	△3,015	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,218	△5,145	+7,073
有形固定資産の取得による支出	△11,959	△5,699	+6,260
無形資産の取得による支出	△909	△1,520	△611
フリーキャッシュ・フロー	1,857	6,851	+4,994
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,771	△15,534	△9,763
借入金の増減	△4,346	△11,071	△6,724
配当金の支払い	△1,139	△1,424	△285
現金及び現金同等物の期末残高	29,269	20,303	△8,965

地域別売上収益

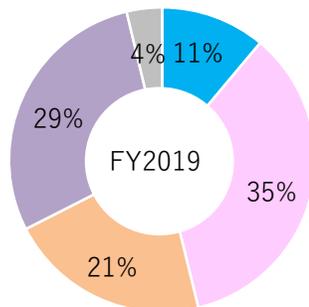
グループ全体



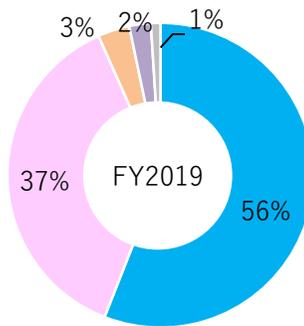
海外売上収益の推移



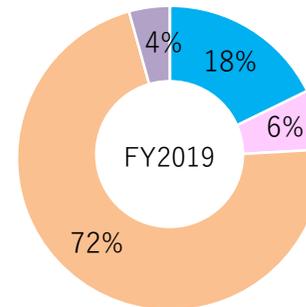
インダストリアル事業



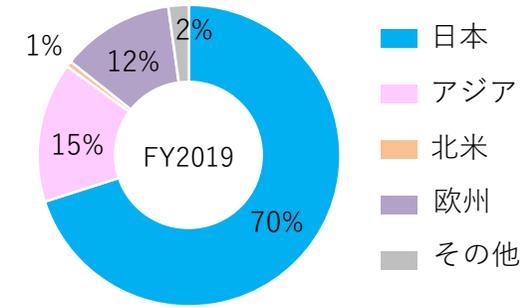
精密機器事業



航空宇宙事業



メディカル事業



- 日本
- アジア
- 北米
- 欧州
- その他

為替感応度の内訳

※1円 円安になった場合の影響額

億円	予測 (2020年12月期 12月末)			
	米ドル		ユーロ	
	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益
インダストリアル事業 ・精密機器事業	+3.1	+0.2	+3.2	+0.3
航空宇宙事業	+1.4	+0.9	+0.0	+0.0
メディカル事業	+0.1	△0.3	+0.8	+0.4
合計	+4.6	+0.8	+4.0	+0.7
期中平均為替 / 業績予想前提レート (円)		109.00		120.00

経営指標の推移

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
基本的1株当たり当期利益	66.08円	72.82円	104.63円	95.68円
親会社所有者帰属持分当期利益率 (ROE)	7.2%	7.3%	9.8%	8.6%
資産合計税引前利益率 (ROA)	3.8%	3.9%	3.9%	4.5%
売上収益営業利益率	6.2%	6.2%	6.2%	7.5%
親会社所有者帰属持分比率	37.4%	30.7%	30.7%	32.2%
DEレシオ	1.05倍	1.63倍	1.53倍	1.28倍

百万円

	2016年12月期	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期
設備投資	7,635	7,508	12,869	7,220
研究開発費	1,679	2,435	2,387	2,346
減価償却費	4,766	5,246	6,335	8,994

インダストリアル事業の受注高・受注残高の推移

百万円

受注高

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2017年12月期	11,261	14,331	14,132	19,103
内、海外	9,487	12,241	12,425	17,113
2018年12月期	20,066	19,760	18,808	23,604
内、海外	18,316	17,659	16,974	20,488
2019年12月期	21,676	19,727	18,147	18,075
内、海外	20,422	16,050	16,819	15,939

受注残高

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
2017年12月期	29,727	30,582	39,461	38,198
内、海外	26,570	27,174	36,036	34,834
2018年12月期	43,058	44,457	43,496	43,674
内、海外	40,088	41,298	40,305	39,608
2019年12月期	47,813	49,402	48,938	46,058
内、海外	44,435	44,282	44,900	41,935

売上収益の推移

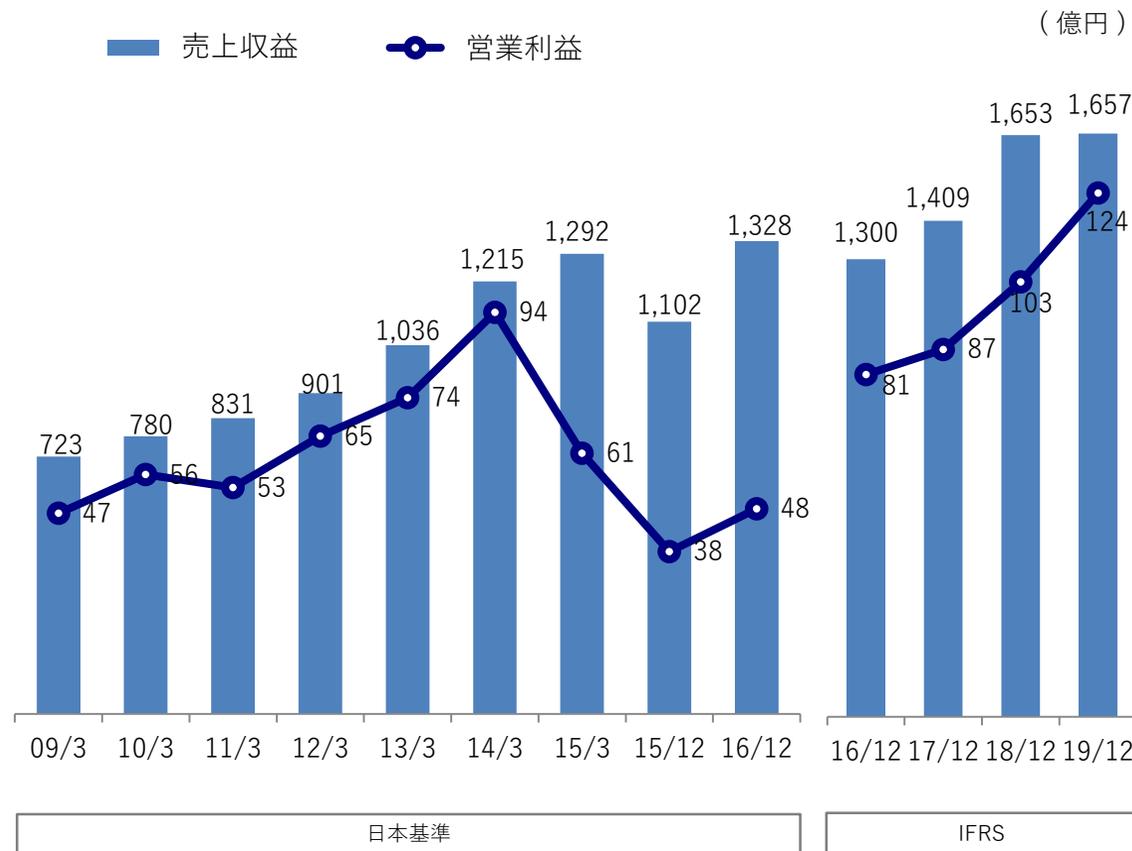
百万円

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
インダストリアル事業	2017年12月期	10,522	13,476	15,274	20,443
	内、海外	8,321	12,502	13,393	16,986
	2018年12月期	15,206	18,361	19,770	23,426
	内、海外	13,247	16,289	17,809	21,203
	2019年12月期	17,536	18,138	18,610	20,953
	内、海外	15,595	16,203	16,567	18,535
精密機器事業	2017年12月期	2,421	2,377	2,070	2,975
	内、海外	745	885	821	775
	2018年12月期	2,516	2,640	2,187	3,339
	内、海外	604	794	739	1,177
	2019年12月期	2,518	2,947	1,589	2,177
	内、海外	896	1,113	662	1,394
航空宇宙事業	2017年12月期	3,578	3,991	3,779	4,202
	内、海外	2,920	3,606	3,306	3,865
	2018年12月期	3,792	4,213	3,924	4,980
	内、海外	3,301	3,648	3,114	4,240
	2019年12月期	4,168	4,431	4,656	4,698
	内、海外	3,389	3,704	3,803	3,874
メディカル事業	2017年12月期	12,964	13,521	13,114	16,085
	内、海外	3,834	3,959	4,623	3,671
	2018年12月期	12,936	15,855	13,943	18,090
	内、海外	4,148	4,586	4,682	5,335
	2019年12月期	13,175	15,861	16,681	16,327
	内、海外	4,193	4,703	4,420	5,255

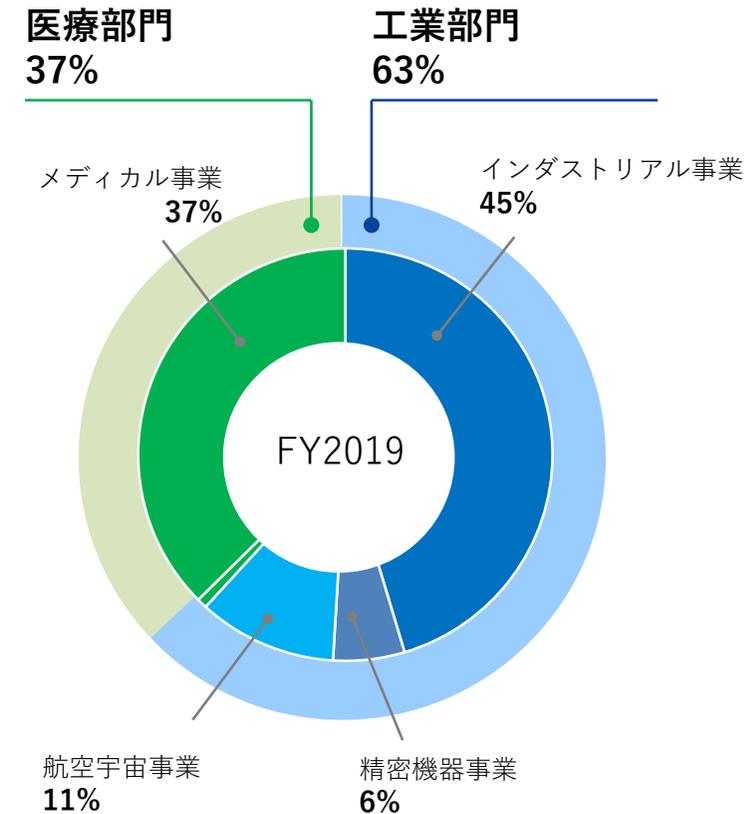
会社情報

連結売上収益

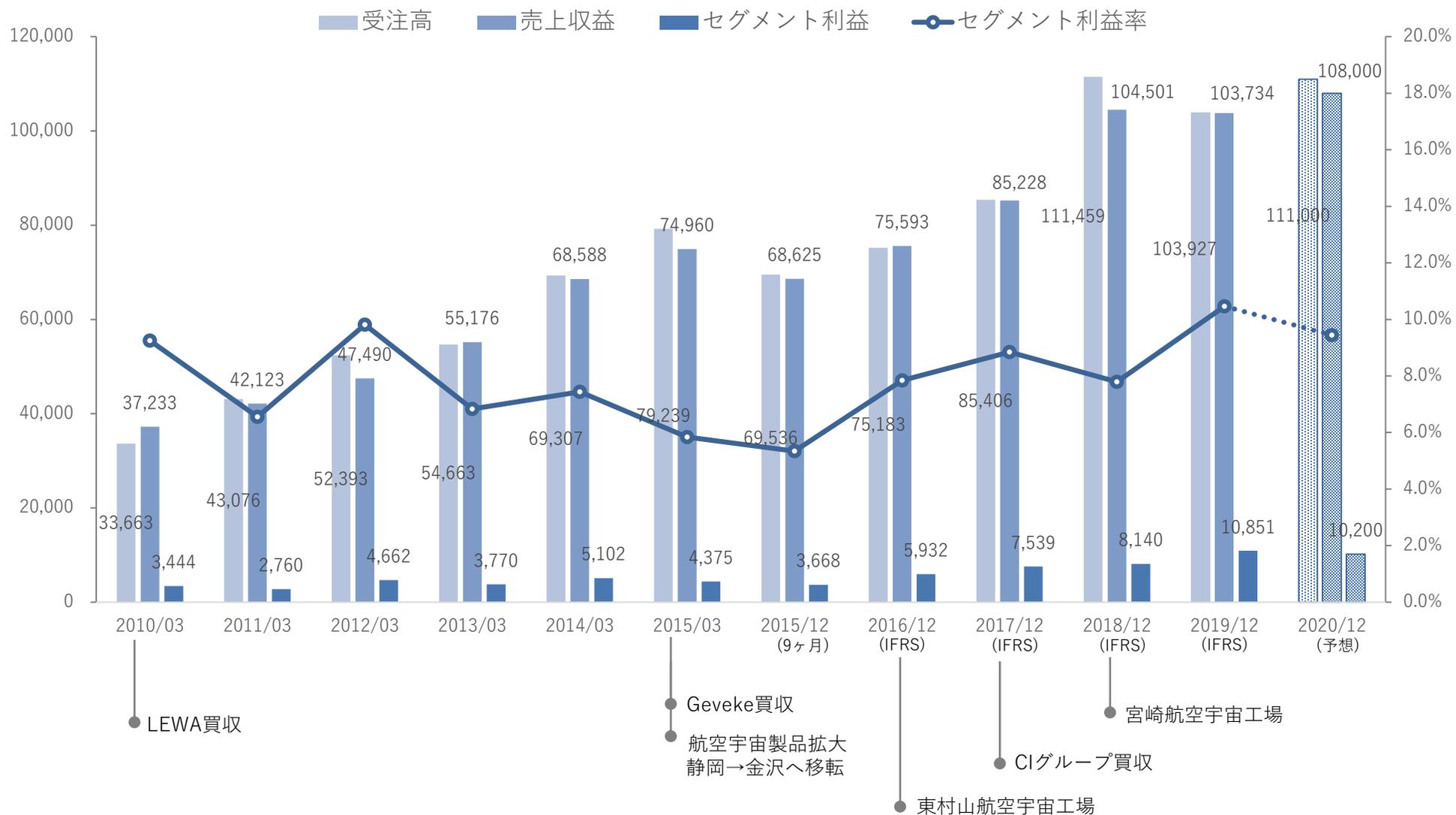
売上収益 / 営業利益



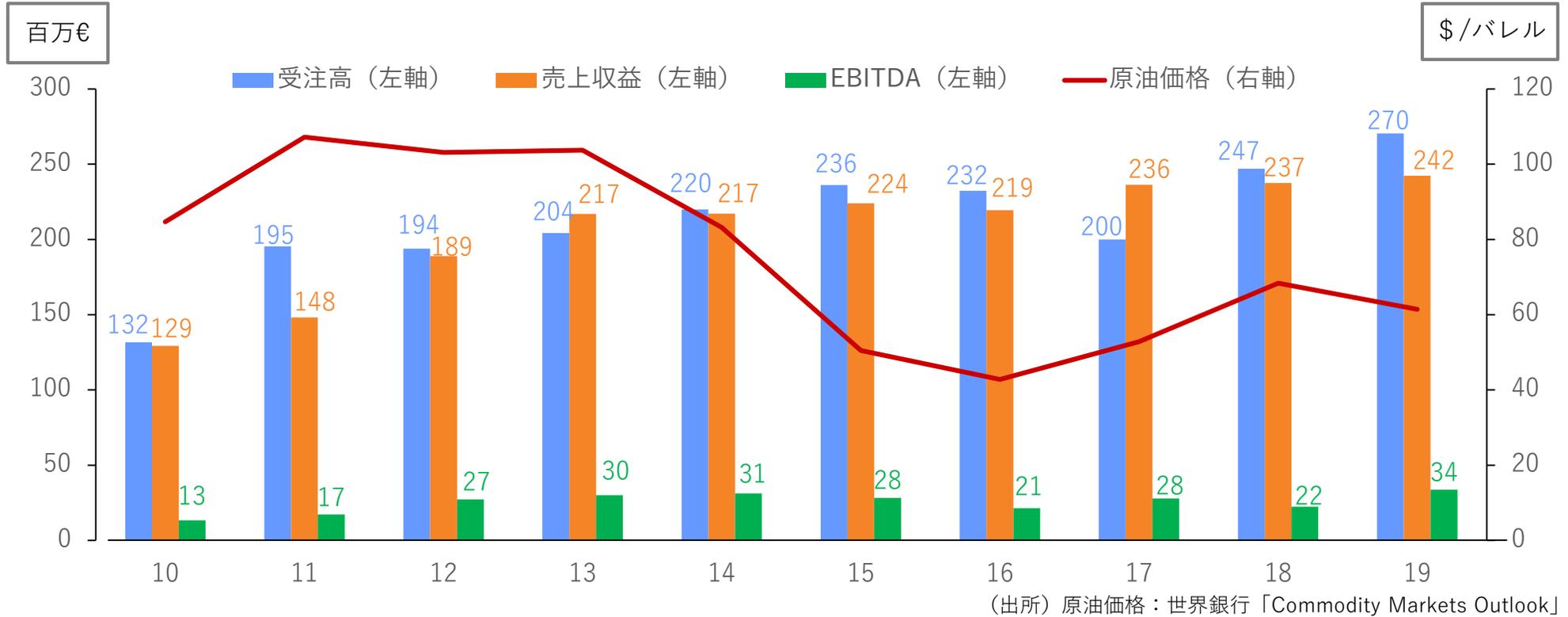
セグメント別売上収益



工業部門業績推移

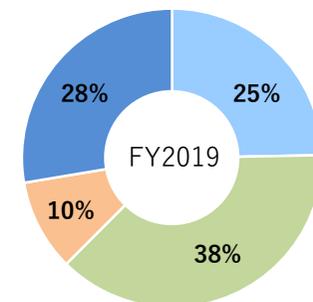
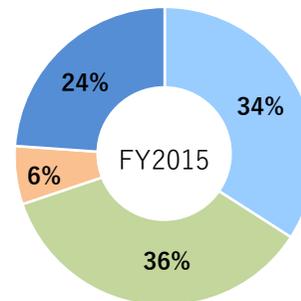
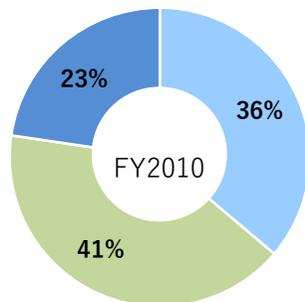


LEWA社 過去10年間の業績推移

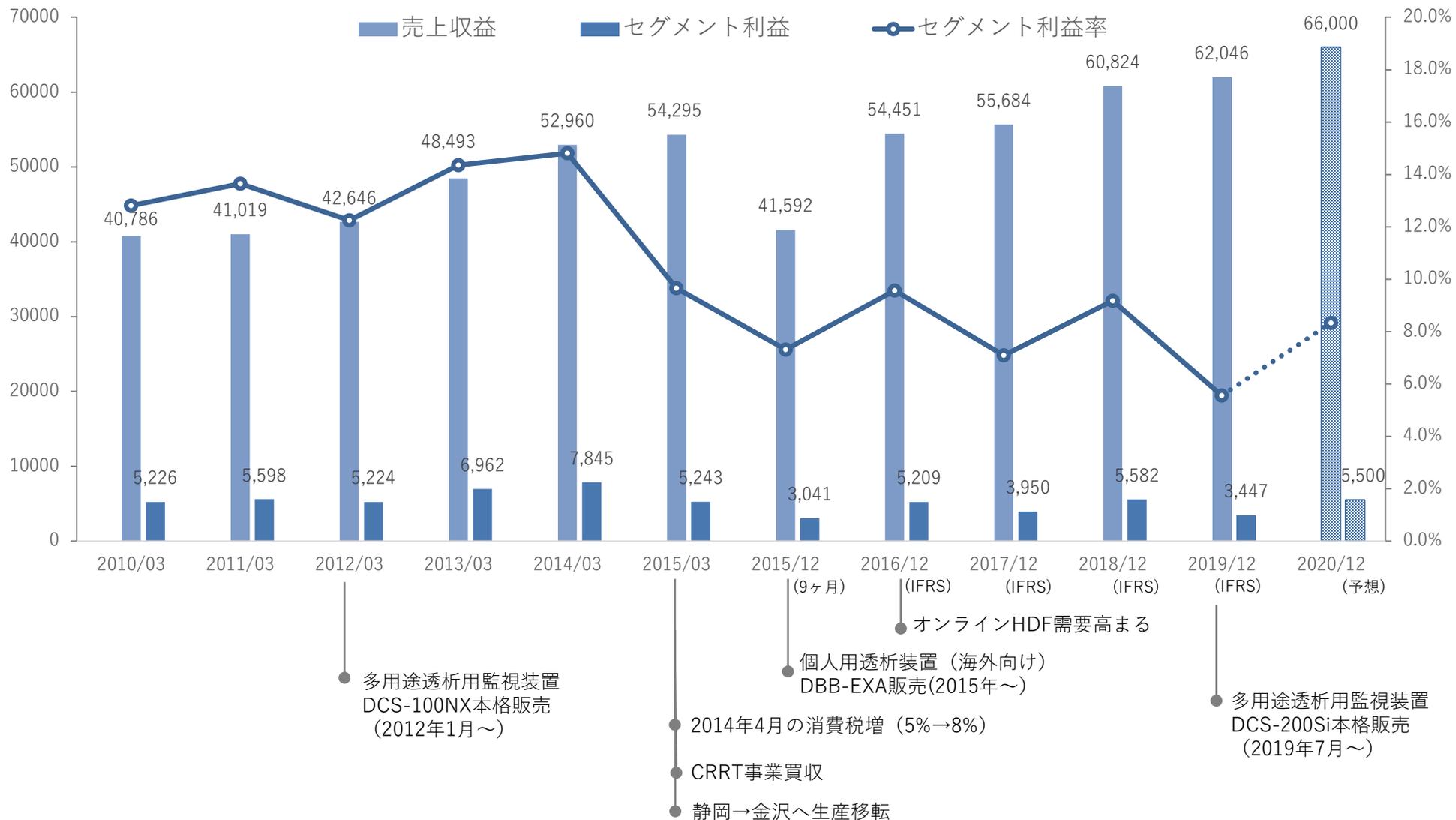


売上収益構成比

- オイルガス
- プロセスインダストリー
- クリーンマーケット
- アフタサービス



医療部門業績推移



日機装グループの歩み 沿革

